

# 昭和天皇欧米外遊の実像

## 象徴天皇の外交を再検証する

波多野 勝著 四六判ソフトカバー282頁 本体 2,400円 ISBN978-4-8295-0858-9



1971年のイギリス訪問

“象徴天皇”の外遊はどのようなプロセスをへて実現したのか



1975年のアメリカ訪問

1971年の欧州訪問と1975年の米国訪問。全く性格の異なる2つの天皇外遊はどのようにおこなわれたのか当時の国際情勢、国内政治状況、準備プロセスなどの分析、関係者の回想・証言などにより、その実像を明らかにする



ニクソン大統領とアンカレッジ会談 (1971.9.26)

### ■1971年の欧州訪問は……

- ・皇太子時代に訪れた欧州各国の思い出の地を再訪する旅
- ・各国王室や元首との交流を通じ、政治性の薄い“象徴天皇”を国際社会にアピールした
- ・かつての交戦国は天皇の訪問をどう受け止めたのか  
天皇の乗った車にもものが投げつけられたり罵声を浴びた／高度経済成長している戦後日本への警戒感からメディアは「経済侵略」と非難した／英国の晩餐会ではエリザベス女王が日本の負の遺産を指摘するスピーチ／江戸時代から友好的だったオランダでの強い反発に日本政府は衝撃を受けた
- ・アンカレッジでニクソン米大統領と会談後、デンマーク、ペルギー、フランス、イギリス、オランダ、スイス、西ドイツの各国を訪問

### ■1975年の米国訪問は……

- ・日米貿易摩擦、基地問題、中国問題など政治課題が山積するなかで政治性を帯びない訪米の実現は困難を極めた
- ・ウォーターゲート事件、田中金脈事件が発生し、宮内庁は天皇の政治利用を警戒、国会でも議論になった
- ・アンカレッジ経由でバージニア州に入り、ワシントン、ニューヨーク、シカゴ、西海岸、ハワイの各地を訪問

「天皇の外遊は、戦後皇室外交の実績を積み上げるプロセスの始まりであり、象徴天皇のスタイルを世界に紹介するチャレンジでもあった。当然、大戦の負の遺産を払拭しきれない日本の姿も明らかになる。……改めて昭和を振り返るとき、天皇の外遊は日本を取り巻く世界との関係を再検証する手立てにもなるだろう」  
 (「はじめに」より)

第1部 天皇の訪欧  
 —センチメンタル・ジャーニーの現実

第1章＊日英皇室交流の再開  
 第2章＊ニクソンの日本訪問  
 第3章＊万博開催と皇族の国際交流  
 第4章＊天皇外遊へのプロセス  
 第5章＊アンカレッジの会談  
 第6章＊象徴天皇のヨーロッパ訪問

第2部 昭和天皇の訪米  
 —錯綜する政権の思惑

第7章＊混迷する天皇訪米問題  
 第8章＊フォード大統領の来日  
 第9章＊昭和天皇の訪米

結びにかえて 負の遺産を引き継ぐ明仁天皇

3月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 3月10日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033  
 東京都文京区本郷3-3-13  
<http://www.fuyoshobo.co.jp>  
 TEL. 03-3813-4466  
 FAX. 03-3813-4615

|                |     |     |
|----------------|-----|-----|
| 発行 芙蓉書房出版      | 注文数 | 注文者 |
| 昭和天皇欧米外遊の実像    |     |     |
| 3月新刊 本体 2,400円 | 部   |     |